

奥飛騨温泉郷

中部山岳国立公園の素晴らしい自然を長めに体験したい人や、早朝から登山に出発したい人にとって、奥飛騨温泉郷に勝る「ベースキャンプ」地はありません。山脈のふもとにある奥飛騨温泉郷は、それぞれからわずか数キロメートルの場所にある五つの小さな温泉街から構成されており、さまざまな宿泊施設とくつろげる温泉を数多く備えています。疲れた筋肉の痛みを和らげ回復することができ、また、この温泉地の湯には特定の症状を治療する効果もあると考えられています。奥飛騨温泉郷には、全部合わせると日本のどの温泉郷よりも数多くの露天温泉があります。その多くは混浴で、一部の温泉では水着を着て入浴できます。

温泉街のうちの二つ（平湯と新穂高）は中部山岳国立公園内にあり、他の三つ（福地、栃尾、新平湯）は付近にあります。それぞれの温泉街は独自の特徴を持っているので（温泉の湯に含まれる鉱物の成分も異なります）、日帰りで立ち寄って湯を試してみてください。宿泊する場合は、ペンションや洋風のホテル、広々とした 17 世紀の伝統的な建物などの中から宿泊施設を選ぶことができます。多くの客室から周囲に連なる北アルプスの山々の景色が望めます。

新穂高からほど近いところに新穂高ロープウェイの最下の駅があります。ロープウェイは標高 1,117 メートルから 2,156 メートルまで二区間を登ります。ロープウェイの頂上にある展望台からは、3,000 メートル級の山々を全方位に望む北アルプスの絶景が楽しめます。